西二小だより

須賀川市立西袋第二小学校
平成２３年７月　１日　第１１号
発行者　校長　吾妻　敦
www.nishibukuro2-e.fks.ed.jp/
E-mail:school@nishibukuro2-e.fks.ed

●● MCL（メディア･コントロール･ライフ）推進大会　～最終年度　1,000名参加のもと～ ●●●●●

２００９年５月に、西袋地区小学生全学年、中学生全学年あわせて９２４名を対象に「メディアに関するアンケート」をとりました。西袋地区では、全国平均よりもメディアとの接触時間が少ないとの結果が出ましたが、４時間以上メディア漬けになっている小･中学生が全体の約１３％いることもわかりました。子ども達の発達に歪みが生じないよう、今のうちからメディアをコントロールした生活に子ども達が主体的に取り組むことによって、子ども達の健全育成を図っていこうと考え、スタートしたＭＣＬ推進運動も今年で３年目を迎えました。本校で今年度６月に実施したアンケート結果からも、平日並びに休日のメディア接触時間は２００９年の調査より減少し、学習時間も各学年とも増加するという結果が出ました。各家庭での取り組みには個人差があったとはいえ、一応の成果が得られたのではないかと思われます。この西袋地区あげての実践の概要について、今後、西袋中学校長が、県校長会中通り地区代表として発表をする予定です。最後に、活動に取り組んできた子どもと保護者の感想を紹介します。

- 今回でＭＣＬ活動が終わりなので、普段でも進んでＭＣＬができるようにしたい。（子）
- 子どもは、自分で時間を見て別な部屋で本を読んでいたり宿題をしていたりした。家族でもＴＶを見る時間も短くなり、何気なくＴＶをつける時間も減ってきている。家族の会話も増えているのがうれしいことである。（保）

●● 夏休み中の過ごし方で注意すること～原発関係～ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

福島原発から白煙が出ていることや、４号機が不安定であることなど、原発のことが気になっている人が多いようです。でも、原発はそれほど心配は要りません。（中略）原発の放射性物質の量は、３月中旬と４月中旬を比較しますと、１ヶ月で１０分の１に減っています。今ではさらに小さく、１０００分の１ぐらいでしょう。つまり、すでに福島原発は最初から見ると１０００分の１ぐらいの大きさしかない原発ですから、あまり心配はないということです。

［６月２２日（水）中部大学　武田邦彦先生のブログより引用］

上記のようなことからも、現時点では、風に流れてまだらに地表に落ちた放射性物質の集まった場所、ホットスポットに注意する必要があります。学校でも子ども達に十分に話をしておりますが、子ども達の健康を守るためにも、以下の点について、ご家庭でも夏休み期間中ご注意ください。

○　公園や道端のヤブ、道路の側溝とマス　吹きだまり　雨どいの下には近寄らない。
○　谷間や凹みなどのミニホットスポットには長くいないようにする。
○　風の強い日は、地面の放射線物質がまきちらされるのでマスクをする。また、窓は開けないようにする。
○　雨の日は、水溜りで遊ばないようにする。
○　室内に入る時は、顔、手洗い、うがいを。衣服や肌のちりをおとすようにする。

※　なお、本校校庭の表土除去は、7 月 21 日（木）～22 日（金）の 2 日間で行う予定です。ただし、天候により変更もあります。